

げん き がく しゃ 「元輝学舎」せんだ通信 8



児童川柳 「青空は プラスにするよ かげと気持ちを」

四字熟語 「夢心 優信」:いつも自分のなかに夢をもつ心、やさしい心と自信を

平成23年12月22日

~校長室だより~

いよいよ年の暮れ。この12月は、師走とともに、終月、臨月ともいわれています。最高気温が10度前後、時折つむじ風が吹くなかですが、休憩時間の運動場は児童の歓声でにぎわっています。縄跳びの輪も広がっています。一方、教室では「静」と「動」、学習問題の解決に真摯に取り組む児童の姿が。

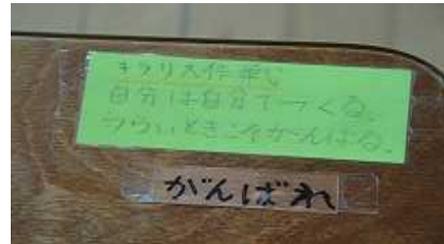
一層よりよい学級へと、建設的な反省と話し合いに取り組む子どもたち

時間割のなかに「学級会」があります。この会は、よりよい学級生活に向け、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度をはぐくむ時間です。

例えば、5年生のクラスでは、事前のアンケート調査の結果をもとに、みんなで「時間を大切にしよう」、「集中して勉強にはげよう」などを志向することとし、その実現を図るための方策を話し合い、自分たちのための、自分たちによる実践を積み重ねました。

その中間期の反省では児童の「意識をしてたることができるが多かったよ」の発言により、「それじゃ、意識できる方法を今日は話し合おうよ」となり、いろいろなアイデアが、写真のように自分の目標を机上に【見える化】することになりました。

授業参観した私にとって担任にとって、児童の着眼力と問題解決力に感動したひと時でした。このように、よりよい学級集団に向け、児童が参画提案・決定したことを積み重ねる体験は、児童に自律的、自治的な力をはぐくむことのできる場であると考え、本校ではこの学級会の時間もまた、大切にしている時間です。



児童の社会参画の取り組みに、またまた感動を！

去る11日の夜、地域や保護者の皆様による防犯・防火をよびかける活動が行われました。参加した児童は、拍子木をうちながら「戸締まり用心、火の用心」と声を発していました。その一生懸命さに感動したひと時でした。また、このような地域の活動に参加する児童の輪が広がればと願う思いももちました。



~児童の「今年を振り返って」に、成長をみる！~

例えば、こんな記述が・・・。

「私は、前より少し作文や日記、感想文が書けるようになりました。前までは200字作文も時間が足りず無理なり書いていたけど、今は少しまとめて書けるようになりました」

「前期より発表する回数がだんだん増えていると思う。これからはまちがえることを恐れずに発表したいです」

「忘れ物がこれまでと比べるとだいぶ減りました。努力すれば、すごく変わるものだと感じました」などなど

自分自身を深く振り返ると、だれも皆成長した証しがみえてくるはずです。この12月、「できたこと」「できるよう努力したこと」この1年の成長の跡を振り返ってほしいものです。

来年は辰の年です。『漢書 律曆志』のなかで辰について「動いて伸びる」「動けば整う」を意味し、草木が盛んに生長し形が整った状態を表すとあります。一層よい年になりますことをお祈りいたします。併せて、この1年、格別なご理解ご協力いただきましたことに厚く感謝申し上げます。

